

科目名	中小企業論	単位数	2単位	学期	前期
担当教員	今井 裕紀		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-32-B-3-430019	経営情報学部A：健全な社会生活を営むための常識を持ち、他者と協力して問題解決にあたることができること			
授業の目的	この授業では、日本の経済・産業における中小企業の位置づけや、中小企業経営の現状、課題、展望について、それらを理解するための理論とあわせて紹介します。また、中小企業を支援する金融や政策上の諸制度について紹介します。				
学修到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業経営の現状、中小企業経営に関連する理論・制度について理解する</li> <li>・中小企業経営の現状や関連する理論・制度の理解にもとづき、中小企業の経営課題と課題への対処について考察できる</li> </ul>				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	イントロダクション：中小企業とは、授業の進め方・受講上の注意点、本講義の学習内容の概要
第2回	中小企業の理論モデル：最適規模論、不完全競争論、柔軟性モデル
第3回	中小企業と日本経済

第4回	中小企業と産業構造
第5回	中小企業と雇用：二重構造論、人的資本論
第6回	中小企業と人材育成
第7回	中小企業とネットワーク理論
第8回	中小企業とサプライヤー関係、連携
第9回	中小企業とイノベーション
第10回	中小企業と国際化
第11回	中小企業とファミリービジネス
第12回	中小企業と起業
第13回	中小企業金融

第14回	中小企業政策
第15回	まとめ
第16回	

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	配布資料を読んで内容について考える（2時間）。
【復習】時間・内容	配布資料と講義中の口頭説明事項をノートにとったもの等を読み返して理解し、講義内容に関連する企業の経営事例や制度を調べ考察する（2時間）。

成績評価	
評価基準・方法	授業態度・授業参加度・小課題（30%）、レポート（10%）、定期試験（60%）
フィードバック方法	授業中に講評を行う。あるいはポータルサイトで講評を掲示する。

アクティブラーニング	
実施の有無	×
実施内容	
教科書/参考書	教科書は使用しません。ポータルサイトで資料を配布します。 参考書： 後藤康雄（2014）『中小企業のマクロ・パフォーマンス：日本経済への寄与度を解明する』日本経済新聞出版社。 関智宏（2020）『よくわかる中小企業』ミネルヴァ書房。
受講上の留意点等	講義内容は授業の進捗によって順番等が変わることがあります。
JABEE	